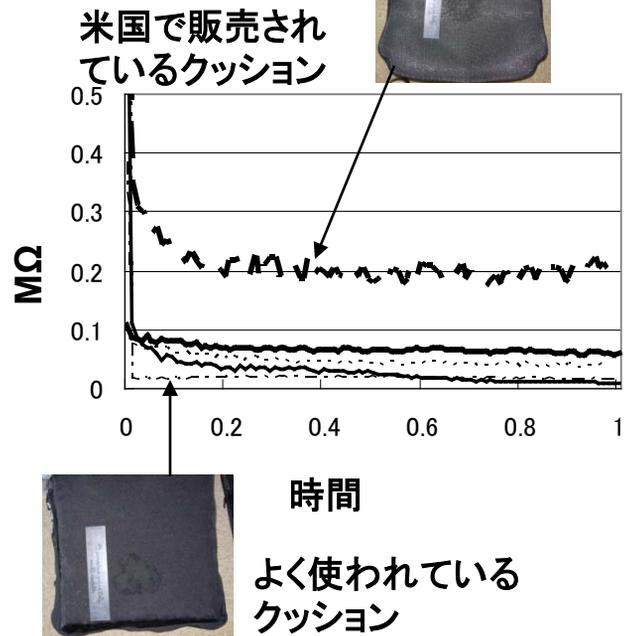
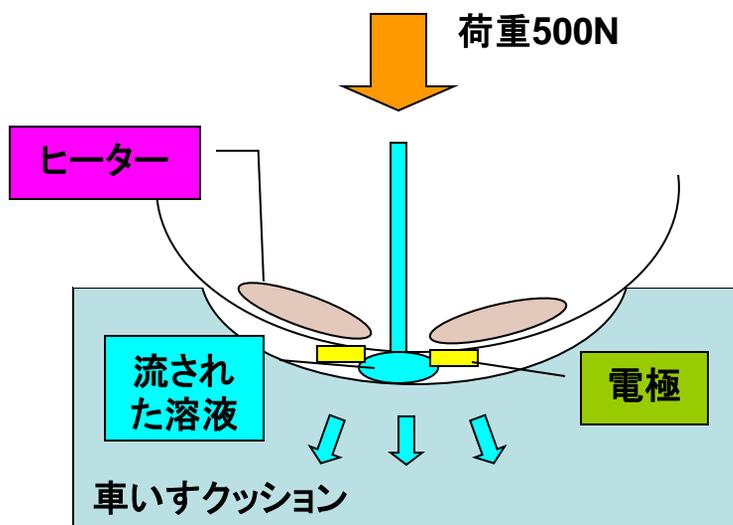


汗をかく臀部模型

座る時間が長い車いすユーザーのクッションの夏場の蒸れを少なくできるかの機能を測定するために開発しました。

臀部模型の構造として、

1. 身体の臀部形状、体温、荷重(体重)を設定します。
2. 発汗機能の代わりにして、坐骨部の直径1mm穴から10ccの塩分溶液を流します。
3. その溶液が臀部模型とクッションの間に存在するか否かを測定するために、穴の左右に電極を設置します。
4. 電極の間の抵抗(インピーダンス)を測定します。
5. 環境は27度、湿度50%に設定しました。



クッションのむれの性能を判別することが可能になりました。